

各 位

長野県労働金庫
理事長 小池 政和

2020年度中間期決算（2020年9月末）に関するご報告

今般、2020年度中間期決算（2020年4月1日～2020年9月30日）をとりまとめましたので、下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 中間期決算の概要

2020年9月末現在の主要勘定残高は、預金が前年度末比2.6%増（187億66百万円増加）の7,138億40百万円、貸出金が前年度末比1.7%増（67億33百万円増加）の3,861億61百万円となりました。会員および構成員の皆さまをはじめ、多くのお客さまのご協力により順調に推移しております。

業務純益は、超低金利環境により、主に資金証券運用における利息配当金が前年同期比で減少したこと等を要因として、前年同期比14百万円減少し12億3百万円となりました。

特別損益は、前年度に弊金庫職員の退職金制度の改定により、退職給付引当金の取崩益1億35百万円を計上していたことから、前年同期比1億34百万円減少しました。

最終損益たる中間純利益は、特別損益減少の影響を受け、前年同期比63百万円減少し8億88百万円となりました。

2. 主要な指標等の推移

（単位：百万円、％）

	2019年度末 (2020年3月末)	2020年中間期 (2020年9月末)	増減	増減率
預金残高	695,074	713,840	18,766	2.6
貸出金残高	379,427	386,161	6,733	1.7
自己資本比率	11.08	11.04	△0.04	—
リスク管理債権	2,091	2,111	19	0.9
リスク管理債権比率	0.55	0.54	△0.01	—
金融再生法ベースの債権区分における不良債権（※）	2,091	2,111	20	0.9
金融再生法ベースの債権区分における不良債権比率	0.55	0.54	△0.01	—

※ 単位未満を四捨五入しております。

	2019年中間期 (2019年9月期)	2020年中間期 (2020年9月期)	増減	増減率
業務純益	1,218	1,203	△14	△1.2
経常利益	1,189	1,212	22	1.9
特別損益	134	△0	△134	△100.0
中間純利益	951	888	△63	△6.6

以 上

＜ 本件に関するお問い合わせ先 ＞

長野県労働金庫 経営企画部 （担当：山崎、松井）

T E L 0 1 2 0 - 6 0 6 - 1 5 0

受付時間 平日 9：00～17：00（土・日・祝日を除きます。）